

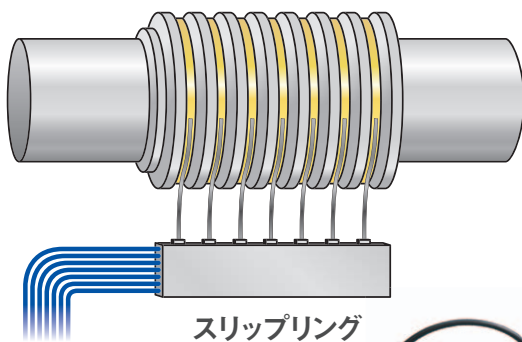
フランジ型8CH温度テレメータ

測温フランジ TTF1-V2

ATESTEO 8CH Temperature Telemetry Flange System

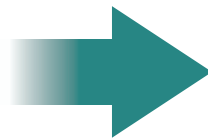
測温フランジTTF1はフランジ型の温度テレメータです。デジタル伝送方式により最大8チャンネルの熱電対による温度測定データをロータ(回転部)からステータ(固定部)へ送信し、ロータに必要な電力は誘導電源によりステータから供給するためロータとステータが非接触です。この方式はスリップリングのようなブラシの磨耗がなく高速回転の用途にも適しています。

スリップリングから測温フランジへ!!



スリップリング

接触式



非接触

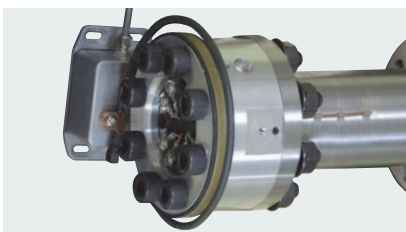
- 高速回転向き
- ブラシレス
- 省配線
- ノイズレス

最大8チャンネル

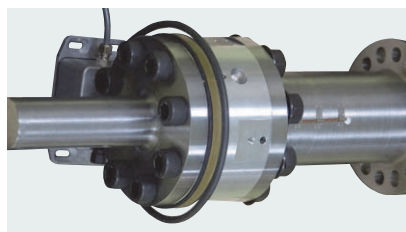


システム構成

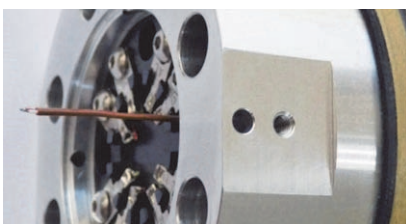
使用例



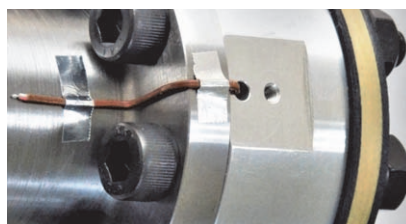
軸端



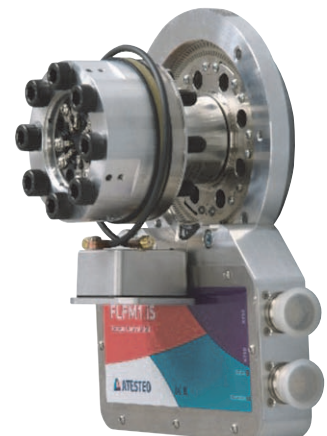
軸間



軸内配線



軸外配線



弊社FLFM1iSとの組合せ例
TTF1の伝達トルクは500Nmまで。

仕様 (抜粋)

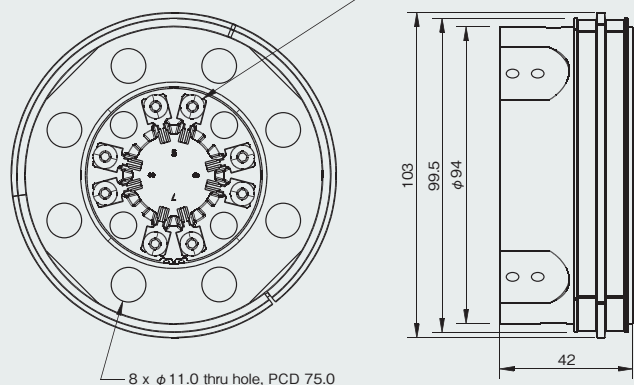
入力CH	4	8
熱電対タイプ	Kタイプ	
検出温度範囲	-200°C ~ 1,350°C	
出力インタフェース	アナログ、RS232C、CAN	
アナログ出力電圧	0V ~ 10V、±10V	
VETAS-J2:入力電圧	DC9V ~ 36V DC12V/1.5A	

入力CH	4	8
精度	±2°C (0°C~1,000°Cの範囲にて)	
アナログ出力更新時間	5 ~ 500ms	10 ~ 1,000ms
動作温度	0°C ~ 70°C(ロータ-ステータ)、0°C ~ 50°C(インタフェース)	
重量	ロータ:0.5kg、ステータ:1.1kg	
付属コネクタ	アナログ、電源	

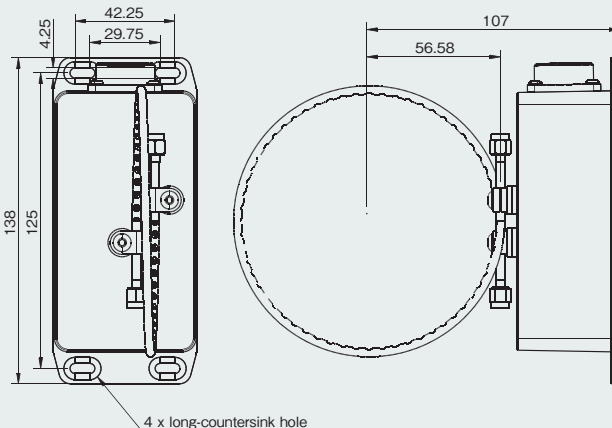
寸法図

ロータ

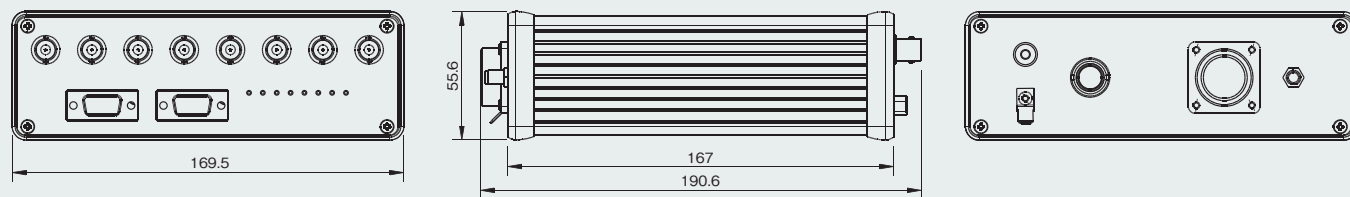
8 x M4 screw, PCD (uneven pitch: 30+60deg.s) 45.0



ステータ



VETAS-J2 インタフェース



仕様は本カタログ製作時のものです。今後変更することがあります。

設定項目

項目	CH	No.	内容	アナログ出力 分解能12bit
アナログ出力更新時間	全CH共通	1	4ch:5ms、8ch:10ms	
		2	4ch:50ms、8ch:100ms	
		3	4ch:500ms、8ch:1,000ms	
温度測定範囲	各CH毎に設定可能 (8種類から選択)	1	0°C ~ 1,350°C	0V ~ 6.75V
		2	0°C ~ 1,000°C	0V ~ 10V
		3	0°C ~ 500°C	0V ~ 10V
		4	0°C ~ 200°C	0V ~ 10V
		5	-200°C ~ 1,350°C	-1V ~ 6.75V
		6	-200°C ~ 1,000°C	-2V ~ 10V
		7	-200°C ~ 500°C	-4V ~ 10V
		8	-200°C ~ 200°C	-10V ~ 10V

小型送信モジュール(カスタム対応)



寸法:W50×D18×H6

測温フランジの取付けが出来ない狭部への組込み等のご要望は、カスタム対応で熱電対の温度データを小型送信モジュールを介してのデータ送信も可能です。